

❁ いわくに市議会だより

シー

# See議会

No. 66

令和5年6月発行



紙面のQRコードをスマートフォンなどで読み込んでいただくと、より詳細な内容を御覧いただけます。

「やさしく」

岡 秀憲氏撮影（立石町）  
写団「のら犬」所属

## 目次(主な内容)

3月定例会の報告 .....	2	議員提出議案 .....	10
一般質問 .....	3~6	議案審議の流れ .....	11
議案の賛否 .....	7	6月定例会の予定 .....	12
委員会審査報告 .....	8~9	編集後記 .....	12

# 3月定例会の報告

令和5年3月定例会が2月21日から3月23日までの31日間の会期で開催されました。

定例会初日には、諸般の報告1件、監査報告5件、報告3件、人権擁護委員の推薦についての諮問5件、令和5年度一般会計予算など45議案からなる合計59の事件が上程されました。議決を要する51の案件のうち、報告1件、諮問5件、議案1件が可決され、残りの44の議案をそれぞれ、経済常任委員会、教育民生常任委員会、建設常任委員会、総務常任委員会に付託しました。令和5年度一般会計予算の審議に先立ち、福田市長から「施政方針」が示されました。ウイ

ズコロナ・ポストコロナを見据えるとともに、令和5年度は、今後10年間を計画期間とする第3次岩国市総合計画に掲げた施策を展開していくスタートの年であり、今後も新たな総合計画に基づき、これまでのまちづくりの流れを止めることなく、しっかりと取り組んでまいりたいとの方針が示されました。

続いて、「市民一人一人がいきいきと暮らせるまち(健康・福祉)」「創意工夫に満ちた活力あふれる産業と観光のまち(産業)」など岩国市の重要課題に対する7つの基本目標と、それを支える行政経営について説明がなされました。

一般質問は、3月3日から8日までの休会日を除く4日間で、19人の議員が登壇し、10周年を迎えた岩国錦帯橋空港の利用促進、本市の産業振興、錦帯橋周辺地域の総合的なまちづくり、みどりの食料システム戦略など、幅広い分野について活発な質問が行われました。

付託された各議案は、13日から4日間にわたって開催された4常任委員会において、審査が行われました。

最終日の23日、各常任委員会の委員長から審査報告があり、議案第10号「令和5年度岩国市一般会計予算」及び議案第20号「令和5年度岩国市水道事業会計予算」については賛成多数で原案のとおり可決され、それ以外の議案については、全会一致で原案のとおり可決されました。

続いて、新型コロナウイルスワクチンの接種体制整備のための経費として、補正額7億7,848万9,000円が計上された議案第46号「令和5年度岩国市一般会計補正予算(第1号)」が上程され、原案のとおり可決されました。

ここで、議員提出議案第1号「岩国市議会委員会条例の一部を改正する条例」及び議員提出議案第2号「昭和町藤生線早期完成のための米軍岩国基地内提供区域約5ヘクタールの返還の早期実現を求める意見書」が上程され、それぞれ、原案のとおり、全会一致で可決されました。

最後に、各常任委員会から閉会中に審査するための特定事件について申出があり、議決され、閉会となりました。

岩国市議会議長 桑原 敏幸

# 一般質問 市政を聞く

3月定例会では、19人の議員により、市政全般にわたる幅広い質問が行われました。

※紙面の都合上、質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

スマートフォンなどでQRコードを読み込んでいただくと、より詳細な質問内容が閲覧できます。



## 会派代表質問



藤本泰也  
(志政いわくに)

### 問 施政方針の「空港の活用促進」について

今後の利用率向上には市内企業をはじめとする近隣企業への利用促進、一般利用者への利用促進も必要になってくると思うが、他空港で行われているビジネスキャンペーンや搭乗特典、修学旅行支援などを参考にしていかがか。

### 答 空港の利活用の促進に取り組み

市としては、今後の市内企業や市民の方々への空港利用促進策として、他空港の事例の調査も幅広く行い、岩国錦帯橋空港利用促進協議会や岩国錦帯橋空港支援協議会において、より効果的な事業の検討を重ね、空港の利活用の一層の促進に取り組んでいく。

その他の質問事項  
・岩国市職員の定員管理について

## 会派代表質問



桑田勝弘  
(公明党議員団)

### 問 本市の産業振興の取組と課題を問う

本市には「岩国市中小企業、小規模企業及び小企業振興基本計画」があり、多くの施策に取り組んでいるが成長戦略に対する取組の明記がない。成長戦略は、市単独の取組が困難であり、連携が重要である。例えば、デジタル技術の導入等について、市内にも国の補助事業の採択を受けた事業者もある。また、脱炭素では国や県は積極的に取り組んでいる。そこでは直接・間接排出量を含め、サプライチェーンによる排出量が算定されるが、中小企業にも影響があると考える。本市の課題や取組を問う。

### 答 課題対応への支援等を総合的に推進する

自ら新たな取組を行おうとする市内の事業者に対して必要な支援を行えるよう、引き続き関係機関と連携しながら取り組む。

## 会派代表質問



松田一志  
(日本共産党市議員団)

### 問 空母艦載機部隊移駐後の安心・安全対策の現状について

平成29年の空母艦載機部隊移駐に係る住民説明会の資料「安心・安全対策の43項目」のうち、「治安対策」と「環境対策」等について、現状はどうなっているのか伺う。特に、昨年12月の米海兵隊員の事件、市街地上空の飛行、港湾施設の運用について伺う。

### 答 安心・安全対策は80%が達成

米兵による犯罪については、被害者に寄り添い関係機関に要請している。また、市街地上空の飛行や騒音については軽減を要請中で、港湾施設の運用は引き続き状況把握に努め、必要な対応を国と米側にも求める。今後も残された課題解決に取り組む。

会派代表質問



武田 伊佐雄  
(憲政会)

問 にぎわい創出施設の整備について

中高生のタマリバというコンセプトで整備された東京都文京区の施設「b-l-a-b」を視察してきたが、本市の若者にもやりたいことができるまちづくりが必要であり、にぎわい創出につながると考える。再開発ビルの施設については、世代間を超えたにぎわい創出施設ではあるが、中高生の居場所づくりにも大いに期待するところである。中高生の活動の場としての市長のビジョンを伺う。

答 若者の意見を取り入れた整備に努める

施設整備の検討のために重ねてきたワークショップでは若者から「学校帰りに自習がしたい」「ダンスや音楽の練習をしたい」といった具体的な意見を頂いている。私の考えとより、若者の声が反映されるよう施設整備に努めていきたい。



中村 豊  
(公明党議員団)

問 錦帯橋創建350周年を迎えるに当たり記念イベントの取組を問う。

答 市民の皆様に参加していただく錦帯橋での人文字作成や、世界遺産登録推進ポスターで活用しているキャラクターの愛称の募集・発表のほか、デジタル技術であるLive2Dでキャラクターを動かす、声を与えることで、さらに効果的に認知度向上につながる仕組みを検討している。



矢野 匡亮  
(志政いわくに)

問 不登校の児童・生徒についての心の支援員、教育支援教室の取組を伺う。

答 令和3年度において235人で前年度より33人の増加、本年度においても、増加傾向は続くものと考えられる。児童・生徒一人一人の気持ちに寄り添った支援を行い、信頼関係を構築し、保護者の相談などを行い、学校と家庭が連携して子供の支援に当たっている。



中村 恒友  
(市民の声をさく会)

問 自治会など地域活動をする役員の成り手不足が各地で問題となっている。災害時の早期避難場所として中央図書館の開所も求められているが、令和7年度の完成を目指す「黒磯地区いこいと学びの交流テラス」も注目されており、立派な施設ができて地域コミュニティが壊れていたのでは避難活動もできない。笑顔のまちづくりのための取組を要望する。

答 効果的で効率的な新しい移動手段の検討を行うなど、持続可能な公共交通体系の再構築に取り組み、買物弱者に対し地域の拠点施設をハブとする物流拠点の整備、ドローン等ITを活用した配送システム構築等の計画の施策を検討している。



奥江 徳成  
(公明党議員団)

問 中山間地域における交通・買物の生活環境の確保について、どのような対策を考えられているのか伺う。

答 外国人園児受入支援事業の補助対象を認可外保育施設まで広げて、安心して保育ができる環境を整えていく必要があると考えるが見解を問う。



広中 英明  
(市民クラブ・草の根)

問 錦川清流線再構築検討事業で行政側が方向性を決める前に、錦川清流線と大きく関わりのある美川町と錦町の住民の方にアンケート調査をして、利用状況や様々な御意見を聞く必要があると思うかどうか。

答 行政サイドのみで進めるのではなく、現状把握を行い、論点を整理して沿線住民の御意見をお聞きし、調査で頂いた声を基に検討する。



野本 真由美  
(公明党議員団)

問 外国人園児受入支援事業の補助対象を認可外保育施設まで広げて、安心して保育ができる環境を整えていく必要があると考えるが見解を問う。

答 外国人園児受入数と日本人園児数の状況が本補助事業の趣旨と合致しているかを精査した上で、判断していくべきものと考えられる。



藤 重建 治  
(志政いわくに)

**問** 昨年の9月、台風14号が接近し、通行規制が行われ、国道2号及び欽明路道路等が通行止めとなった。以前から幾度となく交通規制が行われており、災害に強い岩国西バイパス（岩国玖西連絡幹線道路）の整備、そして既存の幹線道路の防災対策が必要と考えるがいかがか。

**答** 国・県に緊急要望を行っており、今後もしっかりと要望を行っていく。



姫野 敦子  
(リベラル岩国)

**問** 岩国市で制定される犯罪被害者等支援条例について、何も瑕疵のない人への人権侵害や心に大きく傷を残す犯罪が次々と起こる中、岩国市でも、やっと支援金や助成金が支給されることとなった。その内容と被害者を守るための配慮、個人情報情報の漏洩防止等についてを伺う。

**答** 支援金の速やかな支給や人権に配慮した対応、秘密の保持に努める。



丸茂 郁生  
(志政いわくに)

**問** 錦帯橋創建350周年の記念すべきイベントなどで、市民を対象に錦帯橋の渡橋料を無料にすることを問う。

**答** 大変有用な方策の一つと考えるため、手法についてしっかりと検討していく。

**問** 装港地区の活性化のため、新港のポートビルを含む周辺を県と連携し、道の駅のような幅広い人が集まれる複合的な交流施設として整備することを問う。

**答** 調査・研究し、前向きに未来志向で考えていきたい。



川口 隆之  
(志政いわくに)

**問** 岩国市内の歩道の整備について問う。特に市道藤生町3号線の歩道の整備もしくは路面標示などの安全対策について問う。この市道は通学路となっており、市としての安全対策はどう考えているか。

**答** 新たな対策として、通過車両をさらに抑制する通行規制の追加や路面に段差を設けて速度を抑制できるハンプの設置を関係者で検討している。



長岡 辰久  
(日本共産党市議団)

**問** 県は教員の確保ができないと加配教員の凍結を決めた。本市も教員が減らされ、きめ細やかな指導が難しくなり、教員の働き方にも影響が出ると認めた。影響を緩和するため、教職員に求められている過剰な文書の提出、出張などを自粛すべきではないか。

**答** 市報等により、教員経験者等に積極的に声掛けを行い、人材確保に努める。



重岡 邦昭  
(市民クラブ・草の根)

**問** 去年12月、米兵による車の窃盗事件が発生し、既に2か月以上経過している。市民団体が相談に乗り、署名活動まで行い、やっと各機関が動き出したようだ。これでは市長が掲げる基地との共存に不安を覚える市民も増えるのではないか。被害者の負担を早く取り除くため、本市が賠償金を一時的に立て替え、市が国、米国に請求することができないのか伺う。

**答** 税金を使うため、コンプライアンス上厳しい。



小川 安士  
(日本共産党市議団)

**問** 農地の荒廃が進む反面、畜産農家は自給飼料を確保する労力や、設備投資の余裕がないので支援が必要。補助金で機械を購入して貸し出し、飼料を確保することは検討できないか。

**答** 小規模農家や新規参入者から農業機械の購入補助やレンタルの要望がある。これまでの補助事業の要件を整理して、新たな岩国市独自の事業ができないかなど検討している。



石本 崇  
(志政いわくに)

**問** 全国各地で再生可能エネルギーの開発の名の下、大規模な自然環境破壊が続いている。岩国市においても、現在建設中のメガソーラー事業や計画が予定されている風力発電事業があり、岩国市の豊かで美しい自然を守るため、市独自の環境保護条例が必要ではないか。

**答** 国や県の動向も注視しながら、独自の環境保護条例制定について検討していきたい。



広中 信夫  
(市政改革クラブ)

**問** 今回の錦川清流線再構築検討事業は、我々沿線住民には唐突に降って湧いた事業であり、新聞報道以降「廃線ありきではないのか」との声を多く頂いている。この事業の市の考え方を問う。

**答** 近年、錦川鉄道の赤字額が毎年1億円を超え、今後も見込まれる。今後2年間で「廃線ありきではなく」ニュートラルな立場で方向性をまとめたい。

## 自宅から市議会の状況を確認できます

市議会では、「いわくに市議会だより See 議会」のほか、市議会ホームページやCATVアイ・キャンの放映など、自宅からでも議会の状況を知ることができます。

### ☆市議会HP

本会議、委員会の日程をはじめ、市議会の様々な情報を検索することができます。



### ☆いわくに市議会だより See 議会

毎年2月、6月、8月、11月に発行し、「広報いわくに」と併せて配布しています。本会議での議案の議決結果、一般質問や、委員会の活動報告などを掲載しています。



### ☆本会議や一般質問のテレビ中継

CATVアイ・キャンでのテレビ中継や、再放送で市議会を視聴できます。



## 告知 ユーチューブ配信を開始します！

令和5年6月定例会より、ユーチューブにて本会議の録画配信を開始します。

本市議会のチャンネルに順次動画を掲載していきますので、誰でも、いつでも、お手軽に議会の様子を確認することができます。

# 3月定例会の議案等に対する各議員の賛否を掲載しています

## 【全会一致で可決された議案等】

### 【報告】

- 令和4年度岩国市一般会計補正予算（第8号）の専決処分の承認について

### 【諮問】

- 人権擁護委員の推薦について（5件）

### 【議案】

- 令和4年度岩国市一般会計補正予算（第9号）
- 令和4年度岩国市一般会計補正予算（第10号）
- 令和4年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
- 令和4年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和4年度岩国市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 令和4年度錦帯橋管理特別会計補正予算（第1号）
- 令和4年度岩国市市場事業特別会計補正予算（第3号）
- 令和4年度岩国市駐車場事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和4年度岩国市病院事業会計補正予算（第1号）
- 令和5年度岩国市土地取得事業特別会計予算
- 令和5年度岩国市後期高齢者医療特別会計予算
- 令和5年度岩国市国民健康保険特別会計予算
- 令和5年度岩国市介護保険特別会計予算
- 令和5年度岩国市周東食肉センター事業特別会計予算
- 令和5年度岩国市観光施設運営事業特別会計予算
- 令和5年度錦帯橋管理特別会計予算
- 令和5年度岩国市市場事業特別会計予算
- 令和5年度岩国市駐車場事業特別会計予算
- 令和5年度岩国市工業用水道事業会計予算
- 令和5年度岩国市病院事業会計予算
- 令和5年度岩国市下水道事業会計予算
- 令和5年度岩国市簡易水道事業会計予算
- 岩国市犯罪被害者等支援条例
- 岩国市にぎわい創出施設整備基金条例

- 岩国市保育園条例及び岩国市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例
- 岩国市放課後児童の保育に関する条例の一部を改正する条例
- 岩国市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 岩国市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 岩国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 岩国市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 岩国市企業誘致等促進条例の一部を改正する条例
- 岩国市手数料条例の一部を改正する条例
- 岩国市営住宅条例の一部を改正する条例
- 岩国市徴古館条例の一部を改正する条例
- 岩国市出産祝金支給条例を廃止する条例
- 装束ポンプ場改修工事請負契約の一部変更について
- 黒磯地区いこいと学びの交流テラス造成工事請負契約の一部変更について
- 財産の無償譲渡について（2件）
- 山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の構成団体の変更並びにこれに伴う規約の変更について
- 山口県市町総合事務組合の財産処分について
- 市道路線の認定について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- 令和5年度岩国市一般会計補正予算（第1号）

### 【議員提出議案】

- 岩国市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 昭和町藤生線早期完成のための米軍岩国基地内提供区域約5ヘクタールの返還の早期実現を求める意見書

## 【本会議で賛否が分かれた議案】

(○=賛成、×=反対)

件名	議決結果	憲政会				志政いわくに				公明党議員団			共産党		市政改革		同志会		市民		声		リベ					
		植野正則	片岡勝則	貴船 齊	桑原敏幸	武田伊佐雄	松川卓司	石本 崇	川口隆之	藤重建治	藤本泰也	丸茂郁生	矢野匡亮	奥江徳成	桑田勝弘	中村 豊	野本真由美	小川安士	長岡辰久	松田一志	瀬村尚央	広中信夫		細見正行	石原 真	山本辰哉	重岡邦昭	広中英明
令和5年度岩国市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度岩国市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（桑原敏幸）は採決に加わりません。  
 ※会派名の省略は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市政改革=市政改革クラブ、市民=市民クラブ・草の根、  
 声=市民の声をきく会、リベ=リベラル岩国

# 委員会審査報告

経済常任委員会・教育民生常任委員会・建設常任委員会・総務常任委員会

## 経済

委員長 丸茂 郁生  
副委員長 小川 安士  
委員 石原 真・片岡 勝則  
重岡 邦昭・瀬村 尚央  
中村 豊



議案第10号 令和5年度岩国市一般会計予算について

**問** 先日、玖珂町で猿が出没し、住民に危害を加える事件が発生したが、どのように捕獲したのか。

**答** 人的被害が生じたため、直ちに業者へ委託し、ICTを活用した遠隔操作のおりで捕獲した。

**問** ICT機器を市が保有し、猟友会に貸し出すことはできないのか。

**答** ICT等による先端技術の活用は有効であると認識しているが、動物愛護の観点から、出没すればすぐに捕獲・処分するというわけにはいかないため、まずは侵入防止柵の設置など地域で実践できる対策が重要である。今後、課題解消のために効果的と判断される場合には適宜検討していきたい。

議案第17号 令和5年度錦帯橋管理特別会計予算について

**問** 錦帯橋創建350周年記念事業の内容と周知の方法について問う。

**答** 錦帯橋周辺での人文字のように、市民の皆様と一緒に祝う。世界遺産登録の推進をPRするためのキャラクターの愛称を募集したり、このキャラクターにデジタル技術を活用して動きをつけたり会話ができるようにして、イベントで活用したい。また、錦帯橋の歴史や本記念事業等の情報を掲載したパノラマ紙面を作成し、記念の冊子として市民の皆様配布することを検討している。周知については、錦帯橋の公式ホームページや市報等を活用したい。350周年に係る企画を考えておられる民間企業や市民の方と連携を取り、協力もお願いしている。今後、錦帯橋350周年に向けた機運を高めるために、市民の皆様情報発信していきたい。

## 教育民生

委員長 矢野 匡亮  
副委員長 長岡 辰久  
委員 川口 隆之・桑原 敏幸  
野本真由美・細見 正行  
松川 卓司



議案第10号 令和5年度岩国市一般会計予算について

**問** 教育費の教育諸費の学校指導費の部活動指導員配置事業について問う。

**答** 部活動の専門的な指導や大会への引率等を行うことを職務とする支援員を配置することで、指導体制の充実を促進し、教員の負担軽減を図るものである。

**問** 部活動指導員になるに当たり資格等は必要になるのか。

**答** 必要となる資格等は特にないが、岩国市部活動指導員として登録していただく必要がある。

**問** 今後の進め方について問う。

**答** 各学校の部活動の状況によっては、外部指導員といった専門的な資格を持つている方とのマッチングも必要になると考えている。今後、地域移行をする上において、地域での部活動の全体像を把握しながら、関係団体と協議し、学校単位にとらわれない、新しい部活動の取組について検討してま

いりたい。

**問** 今後に向けた大きな方向性の提示が必要になると考える。本市においては、基本的には学校が引き続き部活動を実施するのか、それとも完全に地域に移行するのか。

**答** 将来的には小学校のスポーツ少年団のような形になると考えているが、その途中段階において子供たちが取り残されないように、スポーツや文化に親しみながら活動できる枠組みとしていきたい。

**要望** あくまでも義務教育の一環としての部活動であり、全ての子供たちが活躍できる活動であるべきことを念頭に進めていただきたい。

**答** 全ての子供たちの活動を保障していきたい。子供たちのニーズを捉え、岩国市としての取組を推進していきたい。



スマートフォンなどでそれぞれのQRコードを読み込んでいただくと、より詳細な内容が御覧いただけます。

3月23日の本会議で、各常任委員会の委員長から審査報告がありました。  
主な審査内容と結果を要約して掲載しています。

## 建設

委員長 山本  
副委員長 広中  
委員 植野

委員 藤本 中村  
委員 恒友・姫野 敦子  
委員 辰哉 英明  
委員 正則・奥江 徳成  
委員 泰也



議案第10号 令和5年度岩国市一般会計予算について

**問** 飲料水供給施設管理費について、美和町の向畑・長浴について、水道が整備されていない中山間地域では、水源となる山水を小さな集落で共同管理しているところがある。今後高齢化等により水源の管理ができない箇所が増えてくると思われるが、安定的な供給を目指すために、どのような対応を考えているのか。

**答** 困っておられる地域の方の声を聞きながら、例えば水源がかれてきているようなところについては、柔軟に対応してまいりたい。

**提言** 中山間地域への移住・定住の促進のためにも、水源というインフラの確保についてはしっかりと考えて対応していただきたい。



**問** 住宅管理費について、市内にある老朽化した市営住宅の今後の整備計画及び民間の空き家の公営住宅としての活用などについてはどのようなように考えているのか。

**答** 建設から耐用年数の期限が経過し、老朽化が激しいため用途廃止の対象となっている団地が30団地、339戸となっている。現在5年に1度の岩国市営住宅長寿命化計画の改定作業を進めており、今後の建設や民間の空き家の活用などについて、計画の中で方向性をしっかりと検討してまいりたい。

## 総務

委員長 武田伊佐雄  
副委員長 桑田 勝弘  
委員 石本 崇・貴船 斉

委員 広中 信夫・藤重 建治  
委員 松田 一志



議案第10号 令和5年度岩国市一般会計予算について

**問** 市民憲章の2番目には、「守りたいものそれは豊かで美しい自然」とあるが、岩国市において、太陽光発電等の事業による大規模な自然破壊が問題となっている。再生可能エネルギーは国が推進している事業であり、国や県の方針が示されているかもしれないが、岩国市の自然をいかに守っていくかは重要なことであり、当事者として、市民憲章を踏まえたメッセージを打ち出すべきではないか。

**答** 岩国市の大事な自然を守っていくという気持ちをも、条例という形で具体的に表していきたいと考えている。

**問** 飛行艇ミュージアムの誘致事業に関しては何年も前から状況が変わっておらず、本来誘致の手段であることも飛行艇教室を実施すること自体が、目的化

してしまっているのではないかと。あくまで誘致が目的であり、具体的にどのように誘致につなげるかということこそが重要である。例えば、4月に再開される岩国航空基地フレンドシップデーなどを活用して、飛行艇ミュージアムを誘致していることを大々的に周知するなど、誘致に向けた取組がほかにもあるのではないかと。

**答** 誘致に向けた取組として、機運の醸成と要望活動の2つを行っている。機運の醸成については、マンネリ化することがないように、フレンドシップデーなどの機会を捉えてアピールするなど、全庁的に取り組んでまいりたい。また、国などへの要望活動については、今後も市長を中心に、議員の皆様や、経済界、自衛隊の関連団体などの協力もいただきながら、官民を挙げて取り組んでまいりたい。

# 議員提出議案について

3月定例会において、令和5年3月23日に2件の議員提出議案が提出され、全会一致で可決しました。

## 1 議員提出議案第1号 岩国市議会委員会条例の一部を改正する条例



《提案説明》 公明党議員団 桑田勝弘議員

### ○要旨

岩国市行政組織条例の改正に伴い、各常任委員会の所管が以下のとおりとなります。

常任委員会名	所 管 す る 部 局 等
総 務	総務部、総合政策部、市民協働部、文化スポーツ振興部、会計管理者、議会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、他の委員会に属さない事項
教育民生	福祉部、健康医療部、教育委員会
経 済	産業振興部、農林水産部、農業委員会
建 設	環境部、建設部、都市開発部、水道局

## 2 議員提出議案第2号 昭和町藤生線早期完成のための米軍岩国基地内提供区域約5ヘクタールの返還の早期実現を求める意見書



《提案説明》 憲政会 片岡勝則議員

岩国市議会においては、岩国基地に関し安心・安全対策及び地域振興策の推進を中心とした基地関連施策の充実強化に向けて、全力で取組を進めている。そのための重要な施策として、都市計画道路昭和町藤生線早期完成並びに約5ヘクタールの提供区域の返還及び道路用地を含む民生利用の早期実現を目指しているところである。

都市計画道路昭和町藤生線は、昭和15年に都市計画決定された岩国市昭和町三丁目の国道2号昭和橋交差点南詰めから川下地区、尾津地区を通り、藤生町一丁目の旧中国電力株式会社岩国発電所前までの延長7,570メートルの都市計画道路である。

この道路は、昭和21年から事業が始まった戦災復興の土地区画整理事業に合わせて、起点側の東地区から整備が始まり、平成20年までに米軍岩国基地正門までの2,940メートルが供用開始されている。

残る4,630メートルのうち、現在、基地正門前から南側の門前川左岸までの約400メートル区間について、平成23年度から防衛省の補助事業により事業に着手し、正門から約50メートル区間の用地買収等を実施している。しかしながら、残る南側の約350メートル区間は、基地内を通るルートとなっており、現在まで、基地内への立入りができないことから、道路設計に必要な測量に着手できず、完成時期も未定となっている。

この岩国市にとって重要な基幹道路である昭和町藤生線の整備が進めば、国道188号を補完する道路としての役割を担い、基地周辺の渋滞が緩和されるとともに、緊急時における円滑な避難及び救難活動が行われ、地域の安心・安全の確保と利便性の向上が大きく図られる。

また、提供区域の返還により、道路用地としての活用と併せて、市民の要望を踏まえた民生利用を実現することで、積極的な地域振興策の展開が期待される。

国におかれては、我が国の安全保障体制において岩国市が果たしている役割を十分に賢察されるとともに、昭和町藤生線早期完成のための約5ヘクタールの提供区域の返還を早期実現されるよう、強く要望する。

# 議案審議の流れ

市議会には年4回(3月・6月・9月・12月)、定期的に開かれる「定例会」と、必要なときに開かれる「臨時会」があります。

今回は、議案等が本会議に提出されて、どのような流れで審議されているかを御紹介します。

## 本 会 議

### 開 会

### 議案等提出

議案等には市長から提出されるものと、議員または委員会から提出されるものがあります。

### 提案説明

### 質疑・答弁

議案等の説明に対し、議員が必要に応じて質疑を行い、説明員が答弁をします。

### 委員会付託

詳細な審査を行うため、所管の委員会に付託します。  
※本会議では議案等の「審議」、委員会では付託事件の「審査」と表現します。  
※議員または委員会から提出された議案については、委員会付託を省略することが通例になっています。

## 委 員 会

### 付託事件の審査

付託された議案等を委員会において審査し、採決を行います。

## 本 会 議

### 委員会審査報告

全ての委員会が終わると再び本会議を開き、委員会の審査内容を委員長が報告します。

### 討論・採決

その後、議案の賛否についての採決が行われ、閉会となります。

### 閉 会

## 市議会を傍聴してみませんか？

岩国市議会では、本会議や委員会を、原則として公開しており、どなたでも傍聴することができます。市議会では、市民生活に関わる重要な議題について、活発な議論が交わされていますので、お気軽にお越しください。

詳しくは議事課（0827-29-5193）までお問い合わせください。

## 6月定例会のお知らせ(予定)

6月2日(金)	本会議 (開会 議案等上程 説明 質疑 委員会付託)
6月13日(火)	本会議 (一般質問)
14日(水)	本会議 (一般質問)
15日(木)	本会議 (一般質問)
16日(金)	本会議 (一般質問) ※予備日
19日(月)	本会議 (一般質問) ※予備日
20日(火)	10:00 経済常任委員会 13:00 教育民生常任委員会
21日(水)	10:00 建設常任委員会 13:00 総務常任委員会
27日(火)	本会議 (委員長報告 質疑 討論 採決 閉会)

※会期日程は、変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

※傍聴については、市議会ホームページでお知らせします。



## 議場内に、心が和む「生け花」 ～3月定例会～

3月定例会一般質問の間、「草月流岩国」の方々に生け花を展示していただきました。

花材(サンシュユ、カラー、カーネーション、ヤブツバキ、スプレー菊)



議会広報特別委員会  
委員長 武田伊佐雄  
副委員長 野本真由美  
委員 川口隆之  
長岡辰久  
広中信夫  
広中英明  
松川卓司  
矢野匡亮

副委員長 野本真由美  
議会広報特別委員会では、6月定例会より、定例会及び臨時会の模様をYouTube配信することを決定しました。今後は、時間や場所の制約なくスマホ等で気軽に議会を視聴することができます。より多くの皆様に関心を持っていただけることを期待しています。

令和5年度は、今後10年間の計画期間とする第3次岩国市総合計画がスタートする大切な年です。3月定例会においても今後の施策についての幅広い質問がされました。

編集後記

## 目の不自由な方へ

いわくに市議会だより See 議会の音声データをご希望される方は、議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行/岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5190 FAX(0827)21-1001  
編集/議会広報特別委員会 印刷/フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>



古紙パルプ配合率  
70%再生紙を使用

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

いわくに市議会だより 令和5年(2023年)6月1日号